



炉端の会
2020.09

「炉端の会」のひとり言

◇「炉端の会」、障子張りチームの紹介

障子張りチームでは、雨風や何かが当たって破けた障子の張替え・補修を行っています(月2回午前中)。

使っているのは細川紙、楮(こうぞ)を原料にした手すき和紙です。

○まず古い障子紙を丹念にはがし棧の汚れを拭きます。



○和紙を建具の大きさに合わせて裁断し障子のりで張っていきます。



○小さな破れは、その部分だけ補修します。



○合掌造りの障子の棧は太く豪快、原家(近代和風建築)の棧は華奢で優美、障子がない家、障子は半間でもう半間は土壁の所など、各古民家の地域性や建築年代、部屋の用途で建具の違いがあるのも面白いです。



張り終えた時の爽快感! 「きれいになったねー」の声が嬉しいひと時です。

台風やネコ様のいたずらもあり、なかなか行き届かないのが現状ですが、できる時にできる人が、和気あいあいと活動しています。

特に難しい技は必要ありませんので、会員で興味のある方は是非気軽にご参加ください。1時間だけの助っ人も大歓迎です。